

第1期中期目標期間 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 業務実績評価(案) 新旧対照表

1 全体評価

項目	修正案	修正前 (7月28日分科会時点)	修正理由
総評			
	多摩テクノプラザについては、 <u>多摩地域の産業特性を踏まえた機器整備やセミナーの開催等の取組に加え、立ち上げ時における広報や各種イベントの実施、自治体や金融機関との連携などにより、多摩地域における支援拠点の位置づけが周知されており、利用者の急伸に繋がっている。</u>	多摩テクノプラザについては、立ち上げ時における広報や各種イベントの実施、自治体や金融機関との連携などにより、多摩地域における支援拠点の位置づけが周知されており、利用者の急伸に繋がっている。	前回の分科会での意見を反映した修正
(第二期の事業運営に向けて)	<u>(第二期の事業運営に向けて)</u>	<u>(第二期中期計画の事業実施に向けて)</u>	文章の意味を明確化するための修正 (内容が中期計画に対するご意見ではないため)
	平成23年度には、江東区青海での新本部の開設が予定されているが、多摩テクノプラザや各支所と <u>一体となって、より一層のサービス向上に取り組むとともに、効果的な技術支援事業や研究開発事業を展開するなど、第一期よりさらにステップアップした組織運営を行っていく</u> ことを大いに期待する。	平成23年度には、江東区青海での新本部の開設が予定されているが、 <u>これを契機に、多摩テクノプラザや各支所との連携を更に強化し、より一層のサービス向上に取り組むとともに、効果的な技術支援事業や研究開発事業を展開するなど、一段階ステップアップした組織へと変革する</u> ことを大いに期待する。	文章の意味を明確化し、より分かりやすい表現とするための修正
	特に、研究開発事業については、産業動向や社会経済情勢を踏まえ、社会ニーズに即した研究活動を推進するためのセンター内での連携強化を図り、環境、福祉・医療・健康、 <u>安全・安心</u> などの分野において、エレクトロニクスや情報技術をはじめ、メカトロニクスやバイオ応用技術などを生かした新しい社会技術を創り出す研究をさらに深めていくことが望まれる。	特に、研究開発事業については、産業動向や社会経済情勢を踏まえ、社会ニーズに即した研究活動を推進するためのセンター内での連携強化を図り、環境、福祉・医療・健康などの分野において、エレクトロニクスや情報技術をはじめ、メカトロニクスやバイオ応用技術などを生かした新しい社会技術を創り出す研究をさらに深めていくことが望まれる。	文章の意味を明確化するための修正 (都民生活の向上の視点から追加)
	あわせて、今後も、 <u>職員の採用・育成及び適材適所の配置</u> 、インセンティブの付与などの取組を適切に行うことによって、より「現場力」の強い組織を作り上げていくことを期待する。	あわせて、今後も、 <u>職員の育成及び適正配置</u> 、インセンティブの付与などの取組を適切に行うことによって、より「現場力」の強い組織を作り上げていくことを期待する。	文章の意味を明確化し、より分かりやすい表現とするための修正

2 項目別評価

項目	修正案	修正前（7月28日分科会時点）	修正理由
【項目 1】 新製品・新技術開発 や新規事業分野への 展開のための事業化 支援の推進	製品化支援については、デザインセンターや環境試験センター、製品開発支援ラボを開設し利用促進に努めた <u>ことや、オーダーメイド開発支援事業を実施したことなどにより、</u> 利用件数を伸ばしていることに加えて、優れた製品開発事例も現れており、期待以上の事業成果をあげている。	製品化支援については、デザインセンターや環境試験センター、製品開発支援ラボを開設し利用促進に努めた <u>結果、</u> 利用件数を伸ばしていることに加えて、優れた製品開発事例も現れており、期待以上の事業成果をあげている。	文章の意味を明確化するための修正
	今後は、限られた経営資源を適正に配分しつつ、より効果の高いサービスを提供していくために、技術の進歩や機器の普及状況を踏まえて、 <u>高速造形機に続く次の「柱」となる支援策の方向性を検討していくことが望まれる。</u>	今後は、限られた経営資源を適正に配分しつつ、より効果の高いサービスを提供していくために、技術の進歩や機器の普及状況を踏まえて、 <u>次の「柱」となる支援策の方向性を検討していくことが望まれる。</u>	文章の意味を明確化するための修正
	特許出願件数についても、中期計画で掲げた目標を <u>大きく上回る実績</u> をあげている。今後は、 <u>新たな特許許諾の一層の推進</u> を目指すなど、知的財産の戦略的な活用を図ることで、製品化支援につなげていくことが重要である。	特許出願件数についても、中期計画で掲げた目標を上回る実績をあげている。今後は、 <u>特許許諾率の一層の向上</u> を目指すなど、知的財産の戦略的な活用を図ることで、製品化支援につなげていくことが重要である。	より適切な表現とするための修正 (取組の目標としては、率よりも数の方が適切)
【項目 2】 試験・研究設備と専門的知識等を活用した技術協力の推進	特に、依頼試験においてLED照明装置関連の試験やCEマーキング等の <u>海外規格に関する試験の増加に的確に対応していることや、</u> オーダーメイド試験を実施していること、技術相談においてメール相談を開始し、改善に取り組んでいることは、利用者のニーズに即した対応として高く評価できる。	特に、依頼試験においてLED照明装置関連の試験やCEマーキングに関する試験の増加に <u>的確に対応していることや、</u> 技術相談においてメール相談を開始し、改善に取り組んでいることは、利用者のニーズに即した対応として高く評価できる。	文章の意味を明確化するための修正
	今後とも、高品質な技術支援を実施していくためには、産業技術研究センターが担うべき中心的な役割を考慮しつつ、 <u>引き続き適切な業務バランスの確保に努めていくことが必要である。</u>	今後とも、高品質な技術支援を実施していくためには、産業技術研究センターが担うべき中心的な役割を考慮しつつ、 <u>適正な業務バランスのあり方について検討していく必要がある。</u>	文章の意味を明確化するための修正

項目	修正案	修正前（7月28日分科会時点）	修正理由
<p>【項目 3】 東京の産業の発展と成長を支える研究開発の計画的な実施</p>	<p>今後は、研究水準の<u>更なる</u>向上に向けて、研究開発の質及び活性度について、<u>より一層の飛躍を大いに</u>期待する。</p>	<p>今後は、研究水準の<u>一層の</u>向上に向けて、研究開発の質及び活性度について、<u>抜本的な底上げが図られることを</u>期待する。</p>	<p>文章の意味を明確化するための修正 （現状の基盤研究の状況について、読み手に誤解を与えないための修正）（評定A）</p>
	<p>また、キーテクノロジーと社会ニーズとを結び付けた研究の成果を、社会的課題の解決のために適用する「社会実装」という観点から、都民生活に資する産業技術分野の研究に積極的に取り組んでいくことが望まれる。 <u>こうした取組の一環として、環境、健康・福祉や農業、食品産業などに関連する都立の研究機関等との連携をより一層強化することで、幅広い技術分野の課題解決を促進していくことも望まれる。</u></p>	<p>また、キーテクノロジーと社会ニーズとを結び付けた研究の成果を、社会的課題の解決のために適用する「社会実装」という観点から、都民生活に資する産業技術分野の研究に積極的に取り組んでいくことが望まれる。</p>	<p>前回の分科会での意見を反映した修正</p>
<p>【項目 4】 研究成果の普及と技術移転の推進</p>	<p>また、<u>ニーズ志向</u>のオーダーメイドセミナー事業を開始し、中小企業の個別の要望に対応した支援を実施していることは、（略）</p>	<p>また、<u>ニーズ指向</u>のオーダーメイドセミナー事業を開始し、中小企業の個別の要望に対応した支援を実施していることは、（略）</p>	<p>前回の分科会での意見を反映した修正</p>
	<p>今後とも、ものづくり分野に加えてサービス分野も含め、技術的課題に関する<u>ニーズ</u>を幅広く捉えた<u>産業人材育成の事業展開</u>を、一層推進していくことが必要である。</p>	<p>今後とも、ものづくり分野に加えてサービス分野も含め、技術的課題に関する<u>社会ニーズ</u>を幅広く捉えた事業展開を、一層推進していくことが必要である。</p>	<p>文章の意味を明確化するための修正</p>

項目	修正案	修正前（7月28日分科会時点）	修正理由
【項目 5】 情報セキュリティ管理と情報公開、組織体制及び運営、業務運営の効率化と経費節減	<p>今後は、年齢構成が大きく若返っている中で、業務運営の質を維持・向上させていくために、若手研究員向けの育成プログラムを<u>さらに強化し推進</u>していくことが必要である。</p>	<p>今後は、年齢構成が大きく若返っている中で、業務運営の質を維持・向上させていくために、若手研究員向けの育成プログラムを<u>開発し推進</u>していくことが必要である。</p>	<p>文章の意味を明確化するための修正</p>
	<p>また、自律的運営を確保するために、全職員の<u>事業意識</u>の向上を図る取組が望まれる。</p>	<p>また、自律的運営を確保するために、全職員の<u>マネジメント意識</u>の向上を図る取組が望まれる。</p>	<p>文章の意味を明確化し、読み手に誤解を与えないための修正</p>
	<p><u>情報セキュリティ管理については、規定の整備や対策の強化など、適切な取組が行われてきた。</u> <u>業務運営の改善に関しては、利用者の声や外部からの意見を取り入れながら、サービスの質の向上や経費削減につながる不断の業務改革、業務時間分析及び事業別セグメント管理の試行など、堅実な改善が進められてきた。</u></p>	<p><u>情報セキュリティ管理や業務運営については、利用者の声や外部からの意見を取り入れながら、堅実な改善が進められてきた。</u></p>	<p>文章の意味を明確化し、より適切な表現とするための修正</p>
	<p>多岐にわたる事業を行っており、それぞれの事業実績も増加していることから、改めて<u>業務見直し</u>を行い、より一層の改善を図り、業務運営の効率化を推進していく必要がある。</p>	<p>多岐にわたる事業を行っており、それぞれの事業実績も増加していることから、改めて<u>抜本的な業務改善</u>を図る余地が無いかを検証し、業務運営の効率化を推進していく必要がある。</p>	<p>文章の意味を明確化するための修正 （現状の業務運営の状況について読み手に誤解を与えないための修正）（評定A）</p>
【項目 6】 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	<p>地方独立行政法人化に伴い、安全衛生管理や危機管理、施設整備の体制を自主的・自立的に整備することが必要となり、法人化前とは実施方法が大きく変わることになったが、着実に新たな方式に<u>対応して</u>必要な対策を講じてきたといえる。</p>	<p>地方独立行政法人化に伴い、安全衛生管理や危機管理、施設整備の体制を自主的・自立的に整備することが必要となり、法人化前とは実施方法が大きく変わることになったが、着実に新たな方式に<u>順応して</u>必要な対策を講じてきたといえる。</p>	<p>文章の意味を明確化するための修正</p>
	<p>今後とも、試験研究機関の業務の特性を踏まえた、<u>安全衛生管理・危機管理の充実</u>が求められる。</p>	<p>今後とも、試験研究機関の業務の特性を踏まえた、<u>安全管理の徹底</u>が求められる。</p>	<p>文章の意味を明確化するための修正</p>